

令和4年 山岡記念杯 成績表

準決勝(琵琶湖→栗東)
7月24日 18H.M

決勝(琵琶湖→栗東)
7月24日 18H.M

組	スタート	予選	氏名	CHP
1	8:00	1	伊藤 敏夫	16
		4	松吉 雄大	14
2	8:05	2	横松 唯史	12
		3	繁本 卓哉	14

伊藤 敏夫

(2 - 1)

優勝

伊藤 敏夫

(2UP)

繁本 卓哉

(4 - 3)

=競技特別規則=

- マッチプレーにおいて、2人のプレーヤーのコースハンディキャップの差(100%)をハンディキャップの多いプレーヤーが受け、ハンディキャップの少ないプレーヤーはスクラッチでプレーする。
- 両者のハンディキャップ差が奇数の場合は、アウトコースに最終のハンディキャップを付与する。
- 1番ホールの打順はコインスにより決定する。
- プレー進行の為、ホールとホール間の練習は禁止とする。この違反についての罰は次のホールの負け。最終ホールで違反があった場合はそのホールの負け。但し、「ホールの結果が決定したプレーヤーがそのホールを終える為に打ったストローク」は練習ストロークではない(規則5.5a)。
 - 通常のプレーによるそのホールのホールアウトまでは、プレーを続けることができる。
 - コンシードされた後、ストロークする事が出来る(コンシードは認められる)。
 - ①及び②は練習ストロークとはみなさない。
- マッチプレーにおいて、規定ホール数に達するまでに勝者が決定した場合は、その後のプレーを禁止する。
- 9ホール終了時、プレーの進行に支障がない範囲で指定練習場の使用は認める。
- 欠席者が出た場合、選手の追加はしない。なお、この場合対戦者は不戦勝となる。

・ハーフ2時間10分以内にラウンドしてください。

・欠席の場合は必ず事前にお知らせください。スタートの30分前にはご来場ください。

・コースの先行権を有するものの、他のプレーヤーに対する配慮として、プレーは迅速に前の組との間隔をあげない様ご注意ください。

・他の組を追い抜く時は、エチケットマナーとして必ずパスの挨拶をお願いします。

・マッチプレーにおいてもハンディキャップ査定の為、スコアの提出をしてください。